

2026年2月3日

各 位

“アイデンティティの民主化”へ

AI 戦略室として、次世代 ID 研究開発機関「Know Yourself」を設立！

～AI 戦略室始動。AI と DID 技術を融合した「全方位型個人認証」で BaaS 戦略の中核を構築～

当社は、Web3 領域における「検証可能なアイデンティティ (Verifiable Identity)」の社会実装を目指し、新研究開発機関「**Know Yourself (ノウ・ユアセルフ)**」を設立いたしました。

本機関は、当社の「AI 戦略室」としての機能を担い、AI を活用した金融・フィンテック全方位に対応する個人認証サービスを、社内外のリソースおよびパートナー企業と連携して推進します。これは、今後の当社戦略である BaaS (Blockchain as a Service) における認証技術として最重要な位置付けとなります。

今後も継続してパートナーシップを拡大し、「嘘をつく必要のない社会」を技術によって構築することを目指します。



abc 株式会社 代表取締役 松田元

今回、新研究開発機関「Know Yourself（ノウ・ユアセルフ）」設立に関して、当社の松田元代表取締役インタビュー形式でお話しいただいております！

1. 設立の背景は？

松田元代表取締役：

「『ありがとう』を贈るように、価値を贈る。当社はこれまで、決済を無機質な処理から、温かみのあるコミュニケーションへと変革することを提唱してきました（中期経営計画「Proof of Philosophy（哲学の実装）」よりも参照）。

しかし、従来の Web3 技術（SBT 等）には、「秘密鍵の紛失がアイデンティティの喪失に直結する」という脆弱性や、評価軸が金融資産に偏重しがちであるという課題がありました。私たちの哲学を社会実装するためには、個人の尊厳を守りながら、多様な価値を証明できる新たな ID 基盤が必要でした。」

2. 「Know Yourself」のミッションは？

松田元代表取締役：

「機関名「Know Yourself」には、古代ギリシャの格言「汝自身を知れ（Know Thyself）」と、金融規制用語「顧客確認（Know Your Customer）」という2つの意味（ダブルミーニング）を込めています。

1. Philosophical（思想）：未だ見ぬ自分との遭遇

ブロックチェーン上の行動履歴や、他者からの信頼（Give）を統合することで、ユーザー自身も気づいていない「自分自身の価値」を再発見・可視化します。

2. Pragmatic（実務）：技術による説明責任（Accountability）

金融庁や自治体が求める高度なコンプライアンス要件に対し、数学的に検証可能な透明性を提供します。「誰が」ではなく「どのような信頼を持つか」を証明することで、プライバシーと規制対応を両立させます。

私たちは、技術の透明性を高めることこそが、株主・投資家様をはじめとする全てのステークホルダーに対する最大の誠実（Accountability）であると考えています。本機関の設立は、ブラックボックスになりがちな Web3 事業に対し、技術的な裏付けをもって健全性を証明する取り組みでもあります。」

3. 技術戦略：標準規格と独自概念の融合について

松田元代表取締役：

「『Know Yourself』では、技術的な信頼性と独自のナラティブを両立させるため、以下の技術戦略を採用していきます。」

➤ W3C 標準「DID/VC」の採用

国際標準規格である DID (Decentralized Identifiers) と VC (Verifiable Credentials) をコア技術として採用。特定のプラットフォームに依存しない、アイデンティティ管理と、データの検証可能性の向上を実現します。

➤ 独自概念「Verifiable Identity」の構築

単なる身分証明にとどまらず、個人の「善意」や「コミュニティへの貢献」を検証可能なデータとして資産化する、abc 独自のアイデンティティ概念を定義・実装します。

4. 今後の展開について

松田元代表取締役：

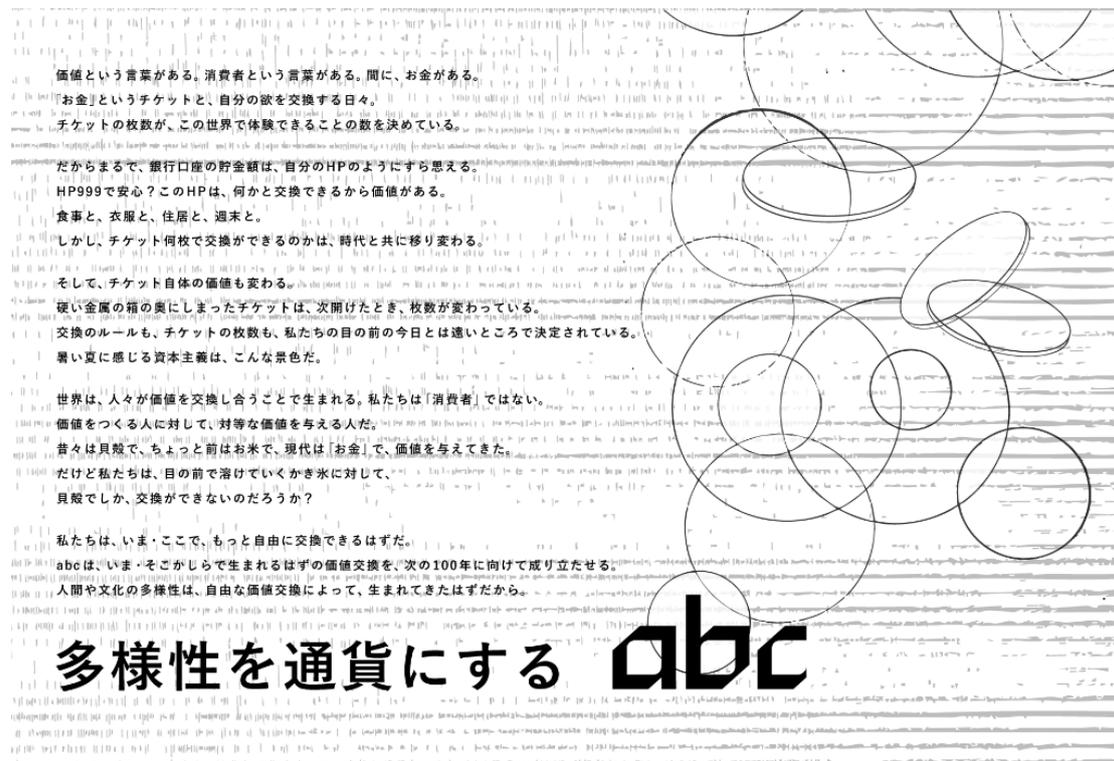
「『Know Yourself』は、現在当社が推進している「Web3 格付け機能」への実装を皮切りに、金融規制当局や自治体等への技術提案に向けた実証実験 (PoC) の準備を順次開始します。

私たちは、「多様性を通貨にする」というビジョンのもと、日本発の Web3 リーダー企業として、安心・安全で、かつ温かみのある分散型社会の構築に貢献してまいります！」

なお、本件が当社連結業績に与える影響は軽微です。

※本リリースは情報開示を目的としており、暗号資産の購入や売却を勧誘するものではありません。

※記載された時点での情報に基づいており、今後の運営方針や仕様は変更となる可能性があります。



価値という言葉がある。消費者という言葉がある。間に、お金がある。

『お金』というチケットと、自分の欲を交換する日々。

チケットの枚数が、この世界で体験できることの数を決めている。

だからまるで、銀行口座の貯金額は、自分のHPのようにすら思える。

HP999で安心？このHPは、何かと交換できるから価値がある。

食事と、衣服と、住居と、週末と。

しかし、チケット何枚で交換ができるのかは、時代と共に移り変わる。

そして、チケット自体の価値も変わる。

硬い金属の箱の奥にしまったチケットは、次開けたとき、枚数が変わっている。

交換のルールも、チケットの枚数も、私たちの目の前の今日とは違うところで決定されている。

暑い夏を感じる資本主義は、こんな景色だ。

世界は、人々が価値を交換し合うことで生まれる。私たちは「消費者」ではない。

価値をつくる人に対して、対等な価値を与える人だ。

昔々は貝殻で、ちよっと前はお米で、現代は『お金』で、価値を与えてきた。

だけど私たちは、目の前で溶けていくかき氷に対して、

貝殻でしか、交換ができないのだろうか？

私たちは、いま、ここで、もっと自由に交換できるはずだ。

abcは、いま、そこらで生まれるはずの価値交換を、次の100年に向けて成り立たせる。

人間や文化の多様性は、自由な価値交換によって、生まれてきたはずだから。

多様性を通貨にする abc

■ abc株式会社について <https://www.gfa.co.jp/>

abcは「多様性を通貨にする」を掲げます。私たちのアイデンティティであり、北極星であるこの言葉は、未来社会への約束です。私たちはこの言葉を、経営、事業、クリエイティブの判断軸とすることで、Web3 技術を核とした通貨の専門集団として、従来の金融システムの枠組みに捉われない「善いことをした人が得をする世界」を目指します。

abcのグループ企業ネットワークにも「Tokenized by abc」をブランド表記として加え、各事業と一体で示すことで、統一的なブランドマネジメントを通じて、グループ全体として多様性を通貨にし、新しい価値交換システムを提供していきます。

所在地：東京都港区赤坂四丁目9番17号 赤坂第一ビル11階

代表者：代表取締役 松田 元

事業内容：企業・ファンド等への投資、投資先支援、不動産関連事業、暗号資産関連事業

《本件に関するお問い合わせ先》

abc株式会社 経営企画部

pr@abc-chain.com

以上